

要です。大体を分類すると下記の様になります。

- ◎ 水産珍味加工業
赤外線乾燥機 高周波加熱機、圧縮焼電熱器等
- ◎ 鉄工関係
高周波加熱機 厚板熔接機 アルゴン熔接機
- ◎ 飲食関係
電子レンジ フライヤ 低圧ロースター
- ◎ 旅館業
電気暖房 電子レンジ 温水器
- ◎ 漁家の構造改善
簡易乾燥扇
- ◎ 農家の近代化
電気温床 赤外線飼育 フロアーヒーテング 定温貯蔵室 ビタルクス
また照明方式も4次元の照明と進歩して居ります。
点の照明から 線の照明へ
線の照明から 面の //
面の // 面と点の照明

＊ “ロータリー情報” に関して遠藤ロータリー情報委員長スピーチ
ロータリー綱要について御話しの予定でしたが、時間の都合上、ロータリー会
員選出の14段階の手続について説明ありました。
理事会で職業分類の空席を確認 — 職業分類委員会 — 幹事～理事会、会
員選考委員会の承認後の事務手続が刻明に説明されました。我々は往々にして
ロータリー、インフォメーションを軽視するきらいがあり、今後どしどしロ
ータリー情報を受講すべきと痛感される。

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第239号

1968~1969-11-13

函館北ロータリークラブ

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第224回例会

(四つのテスト)

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるか、どうか

道南の初冬は落日の残照が津軽海峡の白波に白く冷たく映えて、前浜に“ごとりいか”を漁獲するいかつり船が賑わう季節であります。本日、島本ガバナー公式訪問を会員一同衷心よりお待ち申して居りました。

本日のプログラム

ガバナー公式訪問

島本ガバナー

- ＊ 司 会 深瀬会長 米 齊 唱 “それでこそロータリー”
- ＊ ゲスト 岩船修三画伯 伊部バスターガバナー
- ＊ ビジター 赤木寅一君(斜里 漁業)
木島茂君外7名(函館)
川瀬正君外9名(函館東)

＊ 会長挨拶

- ① 高田会員の御令室が去る8日急逝されまして誠に悲しみに耐えません。家族会、クリスマスパーティーに御元気で御出席された御姿を想起し、面影を偲んで衷心より御冥福を御祈り致したいと存じます。
- ② 「公式訪問に備えて」のテーマで去る12日アツセンブリーを開催、会場湯の川温泉“めんどり亭”に時ならぬ“おんどり”が参集し物心両面で公式訪問に対し準備し、カミシモをつけない誠意で歓迎準備する事を確認し合いました。何と言つても良き準備力は会議を50%成功させた事ですから。
- ③ 去る9月、北クラブ発足以来の快挙、出席率100%を達成致しました。

記念に表彰旗を作成(会長の健筆で)し、今後の敢行を念じたく。

＊ 幹事報告

- ① 去る10日第1分区会長、幹事会議が行なわれましたので、その議題に基づき本日理事会を行ないます。
- ② ガバナー公式訪問は11月20日17時～18時。アツセンブリーは18時15分～20時迄行ないます。

ロータリーだより

- 1. 函館R、C
11月21日の例会は公式訪問のため11月22日17時に変更
- 2. 札幌R、C
11月18日の例会は18時～(於グランドホテル)に変更
- 3. 札幌西R、C
11月26日の例会は17時半～と変更

＊ 出席報告

- 1. 本日の出席 会員43名 欠席9名 出席34名
- 2. 前回の出席率 会員43名 欠席9名 メークアップ9名 100%
- 3. 他クラブ状況 函館R、C 96.45%
函館東R、C 92.86%

“季節の言葉” 或る晴れた日 市川会員にきく

「神風ハンター横行」と新聞誌上に記事がありますが、先生は随分射撃に堪能で再三にわたって入賞されますが、最近の俄かハンターの所かまわず撃つと言う事は危険な事ですね。――

『コウライキジの狩猟が38年振りに11月1日から10日間、日高、渡島支庁管内の一部で解禁になった途端に誤射事故の発生は困った事ですね。各ハンターの自覚自戒が強く要望されますね。キジは解禁と言つても、鳩は禁止ですよ。道南地方では矢張り鴨、山鳥、鶉が多いです。誤射事故が多いのは鶉撃ちですね。鶉の習性として割合に、人家の附近を低く短かく飛びますので、どうしても事故が起こりがちです。鶉は渡り鳥で11月下旬になると南の方に渡つて仕舞います。初冬のくつきりと、すみきつた空の下、渡島下海岸の一角に鶉の群が結集し、直線的とも思われる位に大群で上昇し、南の国を目指して、津軽海峡を渡たり、白雲と共に消え行く壮観はハンターのみ味わう醍醐味とも思いますね。然しこの季節が丁度公式訪問の季節でもあり、出席委員長として

気になる事ですよ。

＊ 卓話 “ロータリー財団週間について”

伊部バスターガバナー

1年数ヶ月前に、当北クラブに出席し、このクラブは出席率がよくなく、出来の悪いクラブだと毒舌を吐いた記憶がありますが、最近の出席率の向上は目ざましく、特に9月には100%達成と親クラブを凌駕する好成績 本日は以前の毒舌を撤回して深く祝福申します。だが ― 今後悪化せん様に頼みますよ。

さて本日は、この15日を中心としたロータリー財団週間について御説明致します。目的は財団に対する認識をたかめて、寄附を奨励する週間です。

1917年ロータリー国際大会で「人間に対する奉仕」と言うテーマで、人間教育が重要な課題となりました。然し、この大会でも次の28年のメアナポリス大会でも論議にはなつたが、実際問題として採決にならず、38年のサンフランシスコ大会で可決、37万5千ドルが財団に寄附され、運営委員会が組織され、更に1947年偉大なるロータリーの父、ポール・ハリスの死去を記念して、全世界ロータリーアンから200万ドルをあつめ、人間の教育フェローシップにエネルギーを注入した次第です。1947年にスタートして、30年間に3500人の奨学生が選抜され370万ドルが支出されました。アメリカ・カナダ両国のロータリーでは、新規入会の場合は10ドルの財団寄附が義務づけられて居ります。日本では義務づけはないが、積極的に寄附して居ります。

＊ 卓話 “絵画雑談” 岩船画伯

略歴紹介

- 1908 北海道函館市に生まれる
- 1926 青山熊治先生に師事
- 1930 帝国美術院に初入選
- 1934 帝国美術院に入選(海の静物100号)
- 1941 光風会々員に推薦される。
- 1967 国立東京近代美術館に収蔵される
日展に招待作家として推薦される

絵を言葉で表現する事は誠に無理な事で、昭和14年ロータリークラブに出席したスピーチした時も本日のスピーチも骨子は同一だと存じます。

昔の絵は自然の姿を写しとつたその美が鑑賞されましたが、近代では自然描写を刻明にしたものであれば、それは只の写真にすぎず、自己が自然美を見て感じた美を画として表現するものが絵画でないか。だから描象的になるのだと言われて居ります。海辺に立つと波の音と磯の香りが我々の感情を刺戟して、あ-自分は海辺に居り、海を見ているのだと感ずる。若しこの場合波の音と磯

の香りを除去した場合の目で見たものは海ではないかも知れない。斯る考え方を煮つめ、自己を意識すれば、意識以前の姿、感情となつてオートマテックに筆がキャンパスに動く所に今日の近代画が生まれる。

では現代の絵画は古代画より芸術性が高いかと申しますと、比較する事は不可能です。美と言うものは、その時代に依つて消長があり、断続するもので、科学性に分析、積み重ねの出来ないものです。ピカソの絵にしても、20代の絵は、すばらしく美を感じさせるが、現代では描象的で、若い時代のうまさを感じ覚的に練磨され、積み重ねられて本日に至つた様です。

画は飽くまでも、自己をみつめ、自己の感情を表現するものであるから、自己自身が卒直な豊かな感情が尊いのである。

先般函館の生んだ文学者 故亀井勝一郎氏の石碑づくりの委員に選出されました。鎌倉では、すでに建立されて居るのに、故郷函館に何も無いのは残念な事です。然し建てる以上は後世に遺して価値のあるものでないと思ふと無意味だと思ふ考され、皆様の御協力を希望します。松籟の音が聞える鎌倉の亀井さんを訪ねたのは、死去される数ヶ月前でした。私は泌々とした口調で話された亀井さんの言葉が今でも想いだされてなりません。

“精神力—精神力と言うけれども、言葉は肉体を通して発表されるものであるから、精神力の過大評価はいけませんね。肉体は健康でないといけません”
註： 亀井勝一郎氏(1907~1968)

評論家。函館生まれ。東大在学中プロレタリア文芸運動に参加、転向して日本浪漫派に参加。伝教思想にひかれ、古典美に日本人の精神の源をさぐる奈良飛鳥文化に傾倒した。著書に「人間教育」「大和古寺風物誌」「美貌の皇后」などがある。

△ △ △ △
ロータリー財団特別寄附者

ロータリー財団へ特別寄附された第350地区会員は下記の会員です。なおボール・ハリス。フェローとは1年に1,000ドル以上寄附された方、オナラリー。フェローとは同500ドル以上1,000ドルまで寄附された方、サステイニングコントリビューターとは、同100ドル寄附した方に贈られる呼称であります。我が国のロータリアンで、これらの呼称を贈られた方は計176人に及んでおります。

第350地区 両角克治 釧路北 オナラリー・フェロ
村上祐二 釧路 “
新谷市造 旭川西 “

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第240号

1968~1969-11-20

函館北ロータリークラブ

第225回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

17.00~18.00

1968~69年度 国際ロータリー会長のメッセージ

参加して敢行しよう Participate!

本日のプログラム

卓話 “最近の金融経済情勢”
日銀函館支店長 秋田克彦氏

- ＊ 司 会 深瀬会長
- ＊ ゲ ス ト 米 齊 唱 “手に手つないで、”
エリザベート・アンヌデュバートン嬢(交換学生)
- ＊ ビジター 島本ガバナー
富田分区代理
藤岡秀彦君外1名(函館R、C)
大勝健介君外2名(函館東R、C)

＊ 会長挨拶

本夕は島本ガバナー公式訪問を祝し乾杯致します。ガバナー訪問を意義ありしむべく、我々の持つエネルギーを有効に発揮し、愛と奉仕のロータリーに就いて語りたく存じます。

＊ 幹事報告

1. 今般慶弔規定作成の声があり、理事会の諒解を得ましたので原案を取纏めて居ります。会員の方の声を得たいと存じますので御意見を御寄せください。

本月中に原案を理事会に提出致します。

＊ ニコニコ、ボックス